

午前 9:00 ~ 午前 12:00
(初診 9:00 ~ 11:30)

午後 2:30 ~ 午後 6:30
(初診 2:30 ~ 6:00)

日	月	火	水	木	金	土
☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺
☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺

2011年 7月

日	月	火	水	木	金	土
					1 全日	2 休診
3 全日	4 全日	5 全日	6 休診	7 全日	8 全日	9 休診
10 全日	11 全日	12 全日	13 休診	14 全日	15 全日	16 休診
17 全日	18 休診	19 全日	20 休診	21 全日	22 全日	23 休診
24 全日	25 全日	26 全日	27 休診	28 全日	29 全日	30 休診
31 全日						

★18日は祝日の為休診となります。

2011年 8月

日	月	火	水	木	金	土
	1 全日	2 全日	3 休診	4 全日	5 全日	6 休診
7 全日	8 全日	9 全日	10 休診	11 全日	12 全日	13 休診
14 休診	15 休診	16 休診	17 休診	18 全日	19 全日	20 休診
21 全日	22 全日	23 全日	24 休診	25 全日	26 全日	27 休診
28 全日	29 全日	30 全日	31 休診			

★14日から16日は夏休みの為休診となります。

 当院サイトにも情報を掲載しています。
 どうぞご利用ください。

<http://www.azusawaseikei.com>

あずさわせいけい ひとつこむ

 〒174-0051
 東京都板橋区小豆沢2丁目36-13
 マルエツクリニックビル 5F・6F

TEL: 03-5916-4970 FAX: 03-5916-4977

あずさわ通信 第32号 [2011.07.01 発行]

あずさわ 医療と癒しの融合

発行元: 小豆沢整形外科

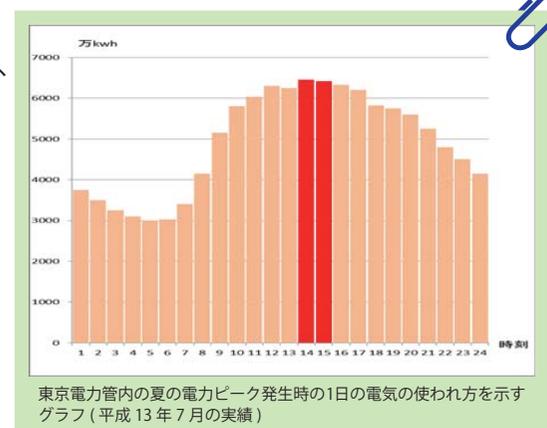


診療時間の一時変更のお知らせ

『夏の節電タイム』を実施します！

この度、3月の大震災と原発事故に伴う東京電力の電力供給不足により、夏季の電力危機が心配されています。暑い日には都内全域でビルなどの冷房に要する電力需要が増え、特に14時から15時までの電力ピークを抑制することが重要です。

患者様の健康のため、診療中の夏の冷房は欠かせませんが、一般家庭より多くの電力を使用するクリニックでも節電への協力も必要です。特に午後2時から3時のピーク電力の低減に協力するため、来る7月17日から、午後の診療開始時間を15時(午後3時)に変更いたします。受付終了時間には変更ありません。すなわち、



診療受付時間:

現行 午前 9:00 ~ 12:00 午後 14:30 ~ 18:30

7/17日から 午前 9:00 ~ 12:00 午後 15:00 ~ 18:30

残暑が予想されますので、実施期間は当面9月30日までを予定しております。しかし、気候や電力状況などの要因でやむを得ず更に時間を変更する可能性もありますので、院内の掲示やホームページのお知らせ欄などに暫くのあいだご注意ください。



ご不便をかけて申し訳ありませんが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

「CO₂による温暖化」は大嘘。世界中が騙された！

『真実』？

アル・ゴア出演のドキュメンタリー映画「不都合な真実」(2006年公開)は有名ですね。この映画では、地球温暖化と環境破壊、人為的CO₂(二酸化炭素)の増加に関して警鐘を鳴らす内容で、世界に衝撃を与えました。

元々地球温暖化とCO₂増加の問題を大々的に提起したのはPCC(気候変動に関する政府間パネル)という国連の下部組織です。IPCCは、『20世紀以降、地球気候の異常な温暖化は確実で、このままでは人類を含めて多くの生命が危機的状況に陥る。その温暖化の最大の原因は、人類が排出するCO₂である。』

と報告しました。IPCCは国際影響力の大きな機関であるため、これが「真実」として世界的に報道され、温暖化の原因とされたCO₂は悪者と世界中が信じ込まされました。

ところが、実は「CO₂原因説」は、事実と全く異なる大きな嘘だったのです。これは海外では既に「温暖化詐欺」として有名です。先進国の中でこれを知らないのは日本くらいで、今も大真面目にCO₂削減に躍起になっている日本は、世界の笑いものになっています。

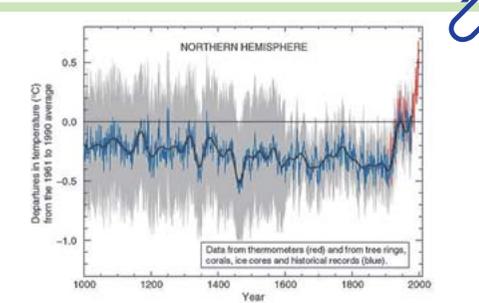
気温はもともと変動している

科学は事実をありのままに記述することから始まります。温暖化と騒ぐ前に、冷静に地球の気温変化を調べてみましょう。IPCCは報告書に次のグラフを載せ、20世紀以降の急激に気温が上昇している(赤い線の部分)と述べました。

しかし、後にこのグラフは執筆者が故意にデータをねつ造して作られたことが判明しました。



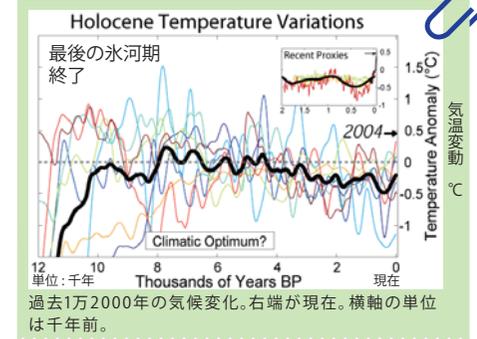
映画「不都合な真実」で地球温暖化について語るアル・ゴア。しかしその内容は「真実」ではなかった。



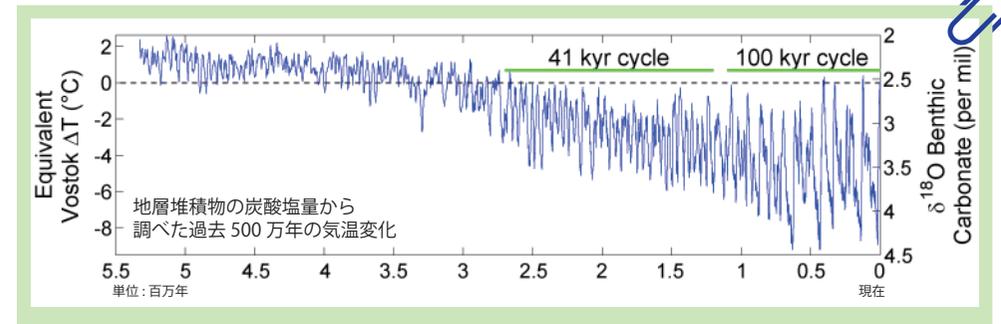
IPCCが載せた過去1000年間の北半球の気温変化。1961年から1990年の平均気温を基準としてその気温からのズレを℃で表している。

では地球の正しい気温変動は、どうなっているのでしょうか？

実は地球気温は遠い過去から一様ではなく、次のグラフのように変動を繰り返してきました。約1万年前から現在に至る気温変動を見ると8千年～4千年前の気温は今よりも明らかに高かったのです。今から100年前程度の期間で見ると気温上昇しているように見えますが、1000年単位に視野を広げると、最近の変動は特に突出した気温上昇とは言えません。



更に長い過去を振り返ってみましょう。次は、過去500万年の気温推移を示すグラフです。



これを見ると、そもそも気温は変動が大きいもので、変動は異常ではないと理解できます。

CO₂ 排出止めても無駄

人類の文明の存在以前の、当然誰も化石燃料を燃やしてCO₂を排出していなかった時代に、今より気温の高かった時代がいくつもありました。

今、多くの賢明な研究者は、地球の気温変動は地球軌道や太陽活動など様々な要素が絡む自然現象であり、人為的CO₂の影響は殆ど無いと考えています。現在、地球全体の平均気温は緩やかに上昇していますが、今仮に人類が産業を停止しCO₂を一切排出しなくなったとしても、気温上昇を止めることにはつながらないのです。

次号に続く！